

「巨理山元統合消防庁舎建設事業」に対するパブリックコメントの結果

	ご意見内容	消防本部の考え
1	「基本計画概要版 2. 現状の課題」について 築55年も経過しており、また大規模の地震が発生した際、庁舎に対する被害は大きいと予想できる。防災の拠点でもあることから、耐震性など被害を最小限にとどめることができるような庁舎を建築してほしい。また、消防職員のなり手を増やすためにも、仮眠室などの居住スペースの充実を図ってほしい。	貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 消防庁舎は、大規模地震等の災害が発生した場合においても、消防・救急活動を継続して実施するための防災拠点として、必要な機能を備えることが重要であると認識しています。 このため、統合消防庁舎の整備に当たっては、十分な耐震性を確保するとともに、非常用電源設備を設置する等、災害時においても消防・救急活動を継続できる機能を備えた庁舎となるよう計画しています。 また、消防職員が24時間体制で勤務する消防業務の特殊性を踏まえ、職員が安全かつ良好な環境で勤務できることも重要であると考えています。統合消防庁舎では、感染症対策にも配慮した個室の仮眠室をはじめ、女性職員専用区画や待機スペース等を整備し、職員が安心して勤務できる環境を確保できるよう計画しています。 消防本部として、住民の生命、身体及び財産を守るための災害対応拠点として必要な機能を確保するとともに、職員がその能力を十分に発揮できる勤務環境を整備してまいります。